

アンガーマネジメント経営賞とは

「アンガーマネジメント」を共通言語として、お互いの人権を尊重し、ハラスメントや差別のない職場を目指す企業が世の中にあふれることを目指し、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会が創設した表彰制度です。

5つの観点から評価が行われ、第一回「アンガーマネジメント経営賞 大賞」にセイコーエプソン(以下エプソン)が選ばれました。



5つの観点

■ビジョン・方針

経営理念・経営ビジョン・中期計画などに従業員の人権尊重・ダイバーシティの確立・ハラスメントの防止に関するビジョン・方針をかかげている。

■人権尊重

国籍、年齢、性別、職位などに関係なく、企業で働くすべての従業員および役員が、それぞれの価値観を尊重し、企業運営に反映できる環境がある。

■組織風土

従業員は想いを持って企業活動に携わり、お互いを尊重しながら、意欲的に働ける風土がある。

■教育

職場において適切な「行動変容」を促すための教育のしくみが整備され、研修や学習機会が継続的に設定・実施されている。

■しくみ・制度

経営理念・経営ビジョンの実現に向けた施策として、社内におけるしくみ・制度・規定が具備されている。

一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会「アンガーマネジメント経営賞」の表彰式について詳しくは[こちら](#) [□]

エプソンの取り組み実績

パワーハラスメント防止施策の一環として、怒りの感情と上手につきあうスキルを身に付け、上手にコントロールできるようになるために、2015年度より「アンガーマネジメント研修」を実施しています。経営層への展開を筆頭に、階層別・職場別・自己啓発など、670講座を開催し、当社および国内関係会社延べ11,000人余りが受講してきました。(※)

エプソンの「アンガーマネジメント研修」について詳しくは[こちら](#)

※2022年度末時点

以上